

ビオトープだより第9号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 協会のシンボルマークについて

副会長・主席 BA 野澤日出夫

1995年6月9日

日本ビオトープ協会総会において シンボルマーク決定



1993年5月、当時静岡大学教授であった故杉山恵一元協会代表顧問の志に賛同する者たちで任意団体「日本ビオトープ協会」が発足、2003年6月特定非営利活動法人として内閣府より認証を得て、以来28年間の活動は設立の理念のもとに今日に至っている。

設立の理念、「一般市民及び青少年に対して、わが国の気候、風土の特性と結びついたビオトープの創生を、自然環境復元の理念・理論・手法に基づいて広く啓蒙することで、ビオトープ創生を通じて人間と自然が共生する社会の推進と、環境保全に寄与することを目的とする。」として、今日まで発展的に各地で会員の皆様の活動が進められ、全国的に「ビオトープ」が知られるようになった功績は評価される。

協会設立の翌年に協会シンボルマークの公募が行われ、応募作品の審査が行われた。翌1995年6月9日に静岡で開催された協会総会において、シンボルマークが決定された。

このデザインは、小岩井農牧（株）小岩井農場山林緑化部（現環境緑化部）の設計担当であった足澤匡さん（現環境緑化部長）の作品です。当時の小岩井農場の社内報「小岩井タイムス」に掲載されています。白黒版ですが、赤色の丸は太陽、下の二つの三角は茶色と水色で土と水を表し、中間の双葉は黄緑色で植物を象徴しています。「太陽の恵の中で大きく成長する願いを込めた」と制作者の足澤匡さんは述べています。また見方を変えると、赤い丸は花の様にも、実の様にも見え、これから大きく実る協会の成果をも表現しています。





【SDGs2】 飢餓をゼロに



TABLE FOR TWO

『TABLE FOR TWO』 という日本発の社会貢献活動があるのをご存じですか？

“TABLE FOR TWO” を直訳すると 『二人のための食卓』。
先進国の私たちと発展途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトです。

《 食の不平等 》

- **世界の9人に1人が飢餓** (世界の約 75 億人のうち、約 10 億人が飢餓や栄養失調の問題で苦しんでいる)
- **世界の4人に1人が肥満** (20 億人近くが肥満など食に起因する生活習慣病を抱えている)

世界規模で起きているこの『食の不平等』を解消し、
発展途上国と先進国双方の人々の健康を同時に解消することをミッションに活動。

発展途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病に同時に取り組む

「TABLE FOR TWO (T F T)」の仕組み

先進国で1食とるごとに 発展途上国に1食が贈られる

ヘルシーメニューで、
健康促進

参加者



発展途上国の
子どもたち

栄養豊富で、
温かい学校給食

可能な限り
地元で収穫、
生産された食材
を活用

小学校の
就学率 UP

- 通常より低カロリーで栄養バランスの取れたヘルシーな定食や商品を購入 (TFT プログラム対象商品)。
※食堂から始まったプログラムは、レストランやスーパー、宅配、自動販売機など、さまざまなかたちで広がっています。
- その際、寄付金として20円をその金額に上乗せしてもらう。
その寄付金は TFT を通してアフリカの子どもたちの学校給食に使われる。
- 20円というのは、発展途上国の給食1食分の金額で、
先進国で対象となる食事を1食とるごとに発展途上国に1食が贈られるという仕組み。



TABLE FOR TWO プログラムへの参加を通じた SDGs の達成

